

108
早稲

関電子会社に元高浜町長

顧問20年超 強固な関係浮き彫り



浜田倫三氏

関西電力役員らが福井県高浜町の元助役森山栄治氏

(故人)から多額の金品を受領していた問題で、関電子会社の「環境総合テクノス(旧・関西総合環境センター)」(大阪市)が、元

高浜町長の浜田倫三氏を退任後の一九八三年から死去した二〇〇五年までの二十年以上、顧問として雇い入れていたことが七日、同社への取材で分かった。■関連①②面

浜田氏の町長時代、森山氏は町に採用されて助役に

なり、ともに高浜原発を推進してきた。森山氏は八七年から今年三月に亡くなる直前の昨年十二月まで、関電子会社「関電プラント」(大阪市)の顧問を三十年以上務めていた。関電が森山氏以外にも高浜町の実力者を囲い込み、強固な関係を築いていたことが浮き彫りになった。

町長を務めた。七四―七五年、運転を始めた高浜原発1、2号機の誘致に尽力。八〇年には3、4号機の設置が許可され、八二年に町長を退いた。

また関電が一四―一七年、森山氏が顧問を務めていたとされる高浜町の建設会社「吉田開発」に、同社が主業務とする土木建築工事以外にも、原発の工費用資機材を置くための所有地の賃貸借や原発構外施設の巡視業務の契約を、入札を伴わない「特命発注」で結んでいたことも判明。関電は吉田開発に原発関連の広範な業務を発注しており、特別扱いが常態化していた。

環境総合テクノスによると、町長退任翌年の八三年七月、旧・関西総合環境センターの顧問に就任した。死去するまで契約は毎年更新され、報酬も支払われていた。顧問となった経緯について、同社担当者は「今後、関電が新設する調査委員会から(経緯説明の)指示があると思う」と述べ、回答していない。

一方、高浜町出身で京都府綾部市職員だった森山氏は六九年、浜田氏の町長二期目に採用された。森山氏は要職を歴任し、七七年に助役になった。町関係者は「森山さんは浜田さんの下で力を付けた。後の町長は森山さんに物を言えなかった」と話した。